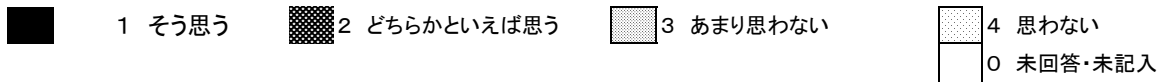


令和3年度第1回学校評価アンケート[結果の分析と考察]

児童、保護者、教職員、地域住民の4者で関連する項目について、分析しています。

グラフ凡例



項目	No.	児童 質問内容	No.	保護者 質問内容	No.	教職員 質問内容	No.	地域住民 質問内容
知	1	勉強では、進んで考えたり発表したりしている。			1	子どもたちは、進んで考えたり表現したりしている。		
知	2	先生の話や、友達の発表をしっかりと聞いている。			2	子どもたちは、人の話をしっかりと聞くことができる。		
知	3	授業が、よく分かる。			3	学校は、授業を通して表現力を高めるための授業改善を図っている。		
知	5	毎日、宿題や自分の勉強などの家庭学習をしている。	1	子どもは、進んで家庭学習をしている。	4	学校は、家庭学習を通して学習の仕方を身に付けさせるようにしている。		
知	6	学校や家庭で、読書をしている。	2	子どもは、読書をしている。	5	子どもたちは、学校や家庭で進んで読書をしている。		
知	7	忘れ物がないように自分で学習の準備をしている。	3	子どもは、自分で次の日の学習準備をしている。				

【考察 ～知～】

○児童は、授業中に進んで考えたり、発表したり、話をしっかりと聞いている。家庭でも学習や読書を大半がしている。

○教職員は、概ね肯定的であるが、評価「1 そう思う」が少ない。

▲保護者によれば、家庭学習や読書をしている児童は6割程度にとどまる。

★ 授業では考えたり、発表をしたりする場面を増やす。少人数学級の強みを生かしていく。、家庭学習や読書の習慣が定着するように取組を工夫する。

	児童	保護者	教職員	地域住民
徳 8	いつも自分から先に気持ちの良いあいさつをしている。	4 子どもは、出会った人に自分から気持ちの良い挨拶をしている。	6 子どもたちは、自分から気持ちの良い挨拶ができる。	1 子どもたちは、地域の方に元氣よく挨拶をしている。
徳 9	人に笑顔で接したり、親切にしたりすることができている。	5 子どもは、人に笑顔で接したり、親切にしたりすることができている。	7 子どもたちは、笑顔で人に接したり、親切に接したりできる。	2 子どもたちは、人に笑顔で接したり、親切にしたりすることができるように育っている。
徳 10	友達にいやな言葉を言わないで仲良くし、いじめはしていない。		8 学校は、いじめ根絶に向けて組織的な取組を行っている。	
徳 11	きまりや約束を守っている。	6 子どもは、きまりや約束を守って生活している。	9 子どもたちは、きまりや約束を守ることができる。	
徳 12	係、掃除、委員会活動、ボランティア活動などに一生懸命に取り組んでいる。		10 子どもたちは、係、清掃活動、委員会、ボランティア活動に一生懸命に取り組むことができる。	
徳 13	自分の夢や目標をもっている。	7 子どもは、夢や目標をもっている。	11 子どもたちは、自分の夢や目標をもっている。	

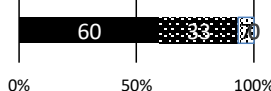
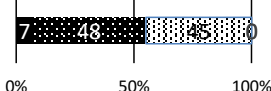
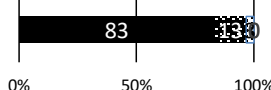
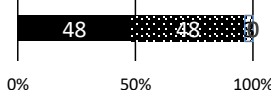
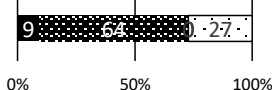
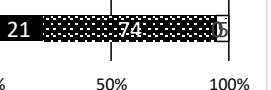



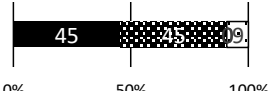
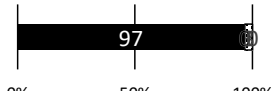
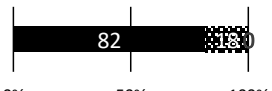
【考察 ～徳～】

○児童は、あいさつや笑顔で人に接したりすることについて、100%の肯定率である。きまりや約束を守ること、係活動や掃除などの規律ある生活についても100%の肯定率である。

○「夢や目標」について、児童は100%の肯定率に対して、保護者や教職員は半数程度の認識である。

▲保護者や教職員、地域住民は、児童のあいさつや生活習慣については、肯定率90%を超えるが、一部に否定的な意見がある。

★「あいさつ」や人との接し方から、児童一人ひとりの変化を見逃さないように情報共有をしていく。いじめがないように、継続した指導を続ける。

	児童	保護者	教職員	地域住民
体 14	おうちでは、よく手伝いをしている。	8 子どもは、家庭で進んで手伝いをしている。		
				
体 15	「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけている。	9 子どもは、早寝・早起き・朝ごはんの生活リズムを整えている。	13 学校は、保護者と連携して、基本的な生活習慣の定着を図っている。	3 子どもたちは、基本的な生活習慣（言葉遣いや返事など）が身に付いている。
				
体 16	健康に気を付けて外遊びなどで体をきたえている。	10 子どもは、家庭でも、屋外で元気に遊んでいる。		
				
【考察 ～体～】				
○「手伝い」、「早寝・早起き・朝ごはん」、「外遊び」について、児童は、90～100%の肯定率である。低学年から高学年まで、ほとんどの児童が休み時間には外で体を動かしている。規則正しい生活習慣もほとんどの児童が身に付いている。				
▲保護者や教職員、地域住民は、児童のあいさつや生活習慣については、肯定率90%を超えるが、一部に否定的な意見がある。				
★寒い時期に向けても、春から夏にかけての望ましい生活習慣が継続するようにする。新型コロナウイルス対応についても、マスクをつけたり外したりする場面を徹底しながら、運動することを奨励していく。				
特色 17	田植えなど、体験学習は楽しい。		17 子どもたちは、水田耕作学習を通して活動の楽しさと自然や地域への感謝を感じている。	
				
特色 18	歌舞伎など伝統的な文化を学習するのは楽しい。		18 子どもたちは、俵山歌舞伎の活動を通して、充実感、達成感を得ている。	
				
【考察 ～特色ある教育活動～】				
○児童は、体験学習や、伝統的な文化の学習について、100%の肯定率である。教職員も現在の体験学習や地域と連携した学習が有効であると考えている。				
★地域と連携した、体験活動や、伝統的な学習、ふるさとを愛する心を育む教育活動を継続する。				